水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会3つのWGの行動計画

資料－4

水災害情報共有WG

	H25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度～
行動計画	・情報共有プラットホーム(STEP1)を開設（H26.5～）	・「信濃川下流域情報共有プラットホーム」のSTEP1をベースに、情報表示機能及び画面構成等を改良・追加したSTEP2を短期計画（概ね1～2年）で構築する。 ・双方向情報共有システムの検討 ・掲載情報の拡充		・信濃川下流域情報共有プラットホームを運用していく中で、情報の更新・拡充を実施

水防災教育支援WG

	H25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度～
行動計画	【治水・農業施設連携】 ①モデルコースの作成 ②現河道施設スタンプラリー（カードの作成）） ③遺構等の治水歴史巡りへの反映	【治水・農業施設連携】 ①関係機関より施設情報の収集整理 ②モデルコース案、リーフレット案の作成 ③電子スタンプラリーアプリの開発・試行 【水防災教育】 ①教育機関へのヒアリング→必要な教材等の情報収集 ②関係機関より資料の収集 ③ＨＰコンテンツを構築・試行		・信濃川下流域情報アーカイブ開設（H28.4～） ・運用していく中で、情報の更新・拡充を実施

大規模浸水対策検討WG

	H25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度～
行動計画	－	【L1:計画規模（1/150）での検討】 ・下流域の外水氾濫の情報共有 ・既存の排水機場等のリスク評価 ・外水氾濫の被害軽減に向けた方策のリストアップ ・氾濫抑制対策の検討・耐水化が有効な排水施設のリストアップ ・適時的確な避難による被害軽減策検討 ・ライフライン・インフラ施設被害に伴う影響検討		【想定最大降雨規模を対象として検討】 「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく信濃川下流域の減災に係る取組方針に反映

※新たに公表した計画規模の浸水想定区域は、これまでの堤防整備等による治水安全度の向上により、 浸水が想定される区域が縮小したことから、引き続き、想定最大降雨規模を対象とした想定氾濫区域における被害軽減に向 けた方策のリストアップなどを行うこととし、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく信濃川下流域の減災に係る取組方針に反映することとする。

信濃川下流域情報共有プラットホーム

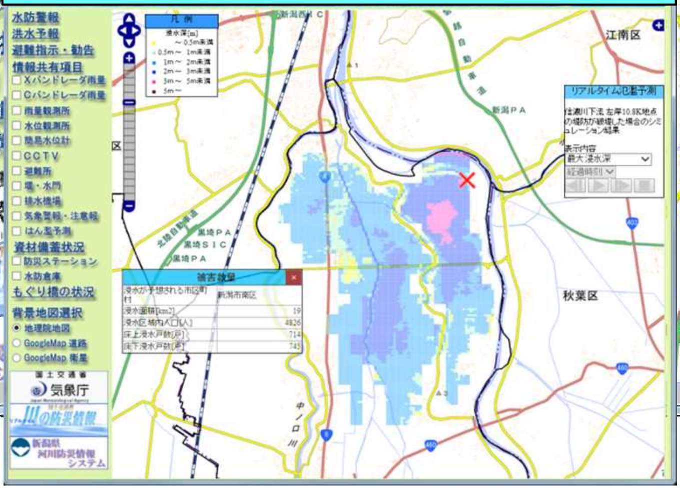
・プラットホームを平成２６年度より運用開始。
・運用をしていく中で、さらに使いやすいよう改良を加えていく。
・平成２７年度にも改良を実施。

※プラットホームへは、信濃川下流河川事務所ホームページにあるプラットホームのバナーからお入り下さい

平成27年度の改良点
- 簡易水位計の追加（行政機関のみ）
- 水位予測の表示（行政機関のみ）
- 氾濫予測情報の表示（行政機関のみ）
- 緊急情報のテロップ表示
- 気象警報等の発令を地図上で表示

追加した簡易水位計
天神林（下条川）
刈谷田橋（刈谷田川）
大沼橋（中之島川）
信濃川大橋（信濃川）
横場新田（信濃川）

氾濫予測情報の表示



水位予測の表示

簡易水位計の追加

信濃川下流域情報アーカイブ

水防災教育の側方支援及び自治体の防災研修等を支援することを目的として資材教材の整備を進めてきた。推進協議会の会員である７市１町１村、県及び国から既存の資料・図表・動画などを収集し、一元化して格納した格納した「信濃川下流域防災教育アーカイブ」を創設。Ｈ２８．４から運用開始。

［ホームページのバナー表示］

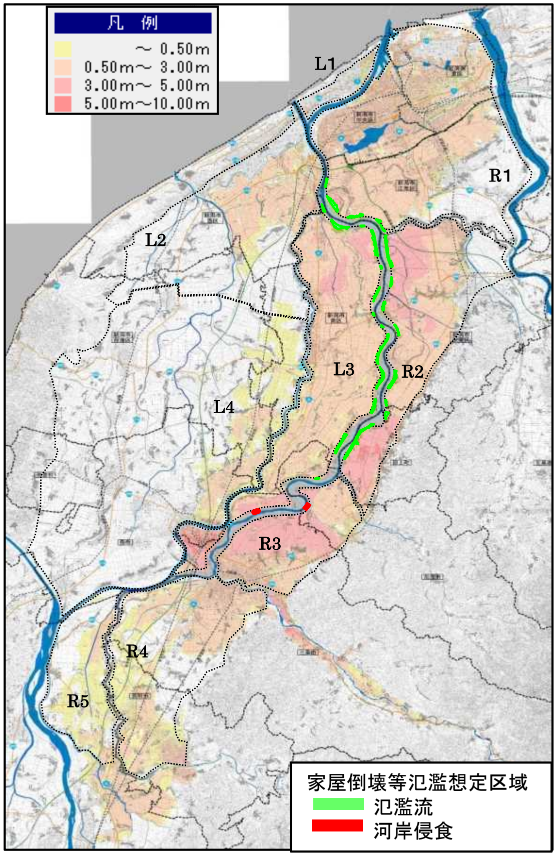
［URL］ http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/kyougikai/archives/

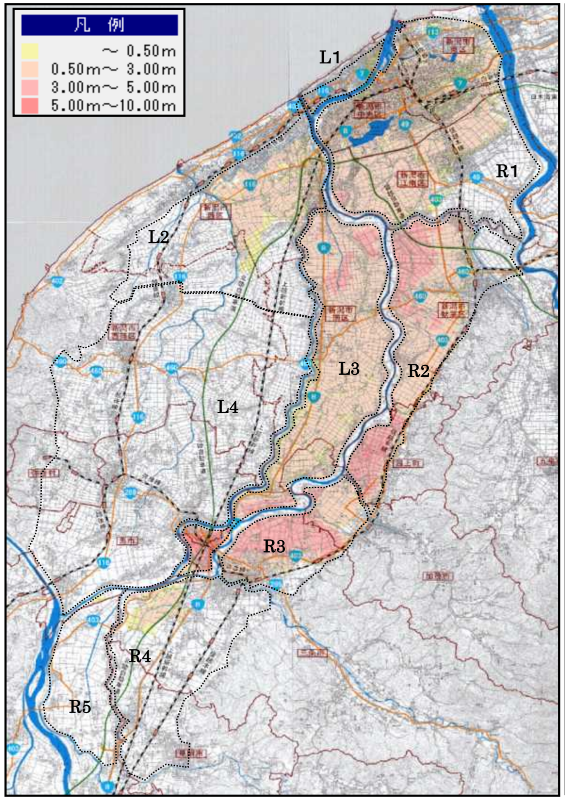
浸水想定区域図の概要

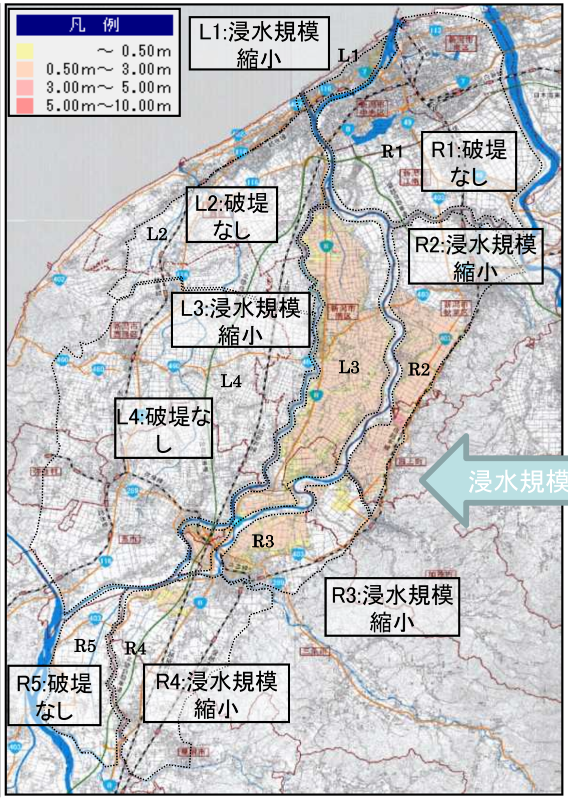
今回公表版（②、③は告示図面、①は参考図面）

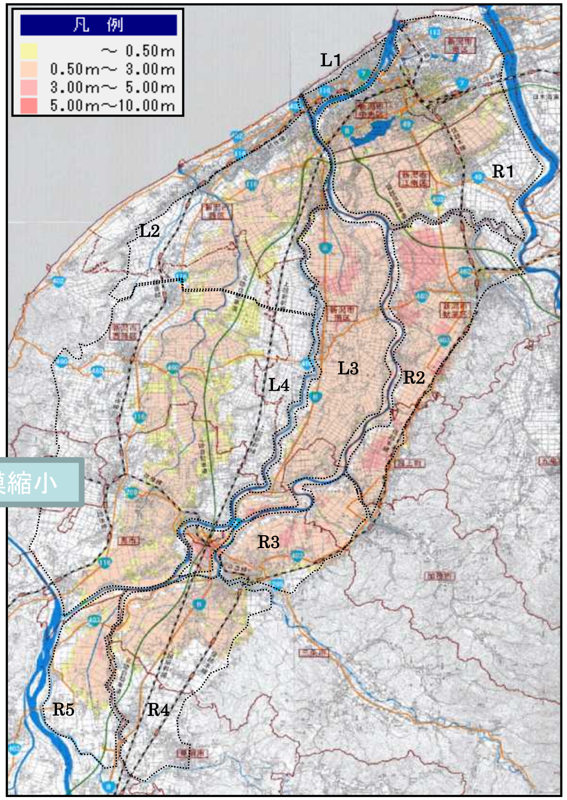
平成14年公表版

①【想定最大規模】（支川越水表示有） H23.7型洪水波形	②【想定最大規模】（支川越水表示無） H23.7型洪水波形	③【計画規模】（支川越水表示無） S36.8型洪水波形	④【計画規模】（支川は越水しない） S36.8型洪水波形









今後の検討対象

これまでの検討対象